

業務連絡

2023年2月19日 No. 8
JR東海労新幹線関西地本
業務部

2023年2月9日、支社会議室において「申」第14号について、組合側幹事と会社側幹事による団体交渉開催に向けた事前の打ち合わせを行いました。会社は、団体交渉を拒否しました。以下は協議の主なやり取りです。

「申」第14号「新型コロナウイルス感染防止対策の強化」に関する申し入れ(2022年12月16日)

1. お客様と社員の健康・生命を守る責務において、全ての職場に、新型コロナウイルス検査キットを早急に常備すること。

【回答】そのような考えはない。発熱や倦怠感等の自覚症状がある場合には無理に出社せず医療機関の受診を懇請している。

以上

《 議論内容 》

組合：職場での濃厚接触の疑いで、他人にコロナ感染を防止するために抗体検査キットを常備する考えはないのか。

会社：基本的には自身の体調管理は自分自身で行い、もしも周りに感染者がいたら体調管理して欲しい。検査キットの希望があることは分かるが、自身でやってほしい。

組合：自身が感染していないか、心配になり検査キットを購入したら会社が費用を負担すべきである。

会社：福利厚生の部分になる。

組合：現在、医療機関では自身で検査キットで調べてから受診することを薦めている。

会社：体調が悪いのなら、まずは休むことである。

組合：必ずしも体調が悪いとは限らない。

会社：自覚症状の有無の判断は難しい所はある。

組合：コロナに感染していても、自覚症状がなければ本人は分からない。分からずに職場に来る人もいるだろうし、狭い部屋の中で一人感染者が出れば濃厚接触の疑いが出てくる。そのような時に検査キットを常備してくれれば、本人の不安も取り除けるのではないか。

会社：不安に思ったとしても、検査キットは自費となる。会社の現状で出来ることはこれ以上はない。

以上